

解答編

今月の1問

9月

まず、循環小数を $0.ababab\dots$ を x とおいて、分数に直そう。

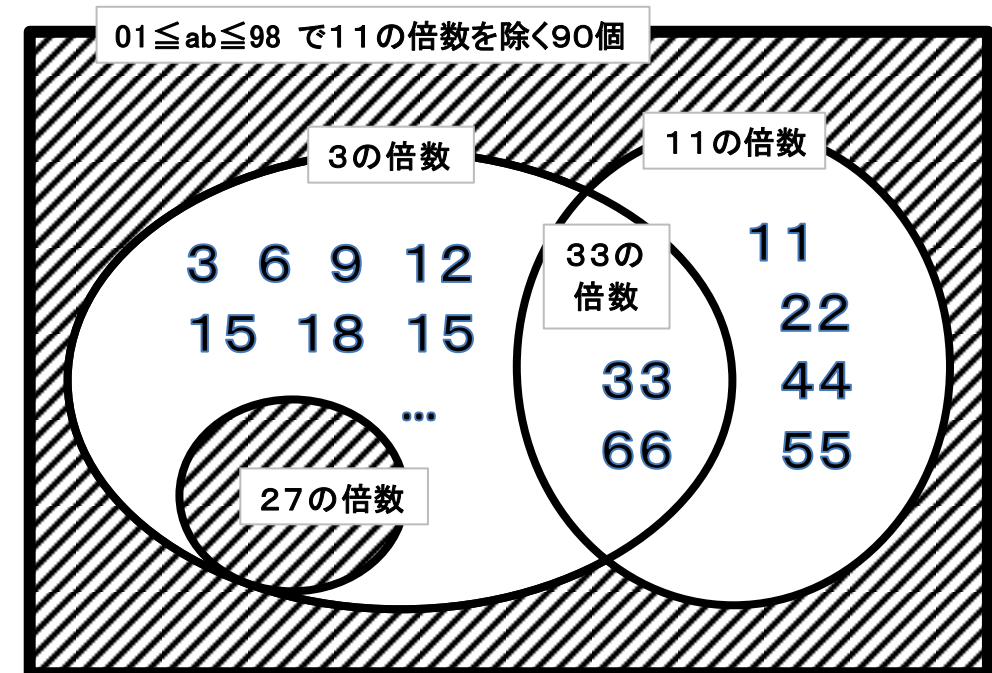
$$\begin{array}{l|l} x = 0.ababab\dots & \dots\dots ① \\ 100x = ab.ababab\dots & \dots\dots ② \end{array} \quad \left| \quad \begin{array}{l} ②-①より \quad 99x = ab \\ \therefore x = ab/99 \end{array} \right.$$

ここで、 a と b は異なる1桁の整数なので、 $01 \leq ab \leq 98$ (ただし11の倍数は除く)の90個あることが分かります。もちろん ab と 99 が公約数を持たなければ90個が答えですが、 $99 = 3^2 \times 11$ より、3と11の倍数は公約数となり約分ができます。既約分数にしなければならないので ab は「3の倍数でなく」かつ「11の倍数でもない」整数でなければなりません。すでに11の倍数は除いてあるので求める個数は、

$90 - (3 \text{ の倍数の個数}) + (33 \text{ の公倍数の個数}) = 90 - 32 + 2 = 60$
答え60個。……と終わりにしたいところですが、実はまだ見落としていることがあります。現段階では3の倍数は全て除かれましたが、これで本当に大丈夫でしょうか。

分母は 3^2 しかありません。もし分子に 3^3 があれば約分しても3の倍数が残るはずですよ。つまり、 $3^3 = 27$ の倍数は約分しても残るのでその倍数は異なる整数になります。その整数は $\{27, 54, 81\}$ の3個ありますので、求める個数は

$60 + 3 = 63$ 答え63個 でした。
右図の斜線部分にある整数が求める整数です。



答え 63 個

今回は、一見してよくある問題に見えましたが、実は『**安易にに3の倍数を除いてはいけない**』というのが大切なポイントの問題でした。